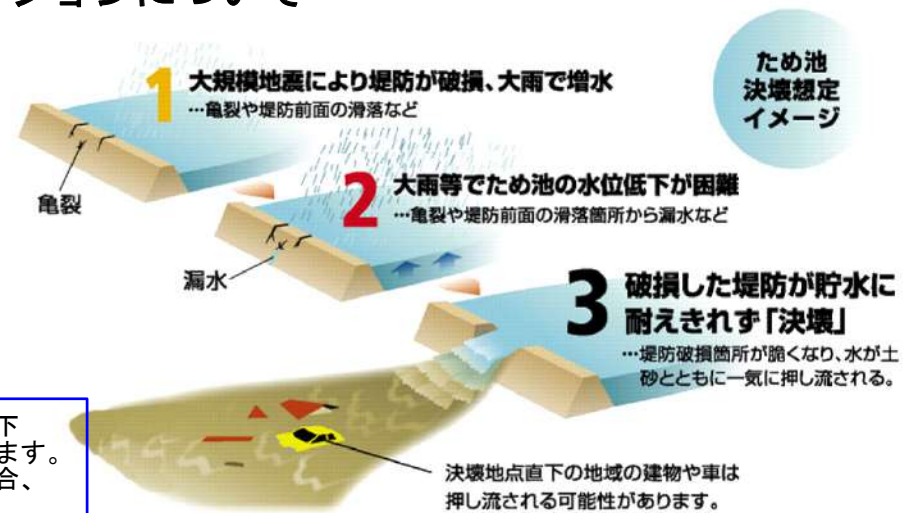


もしも、ため池が決壊したら

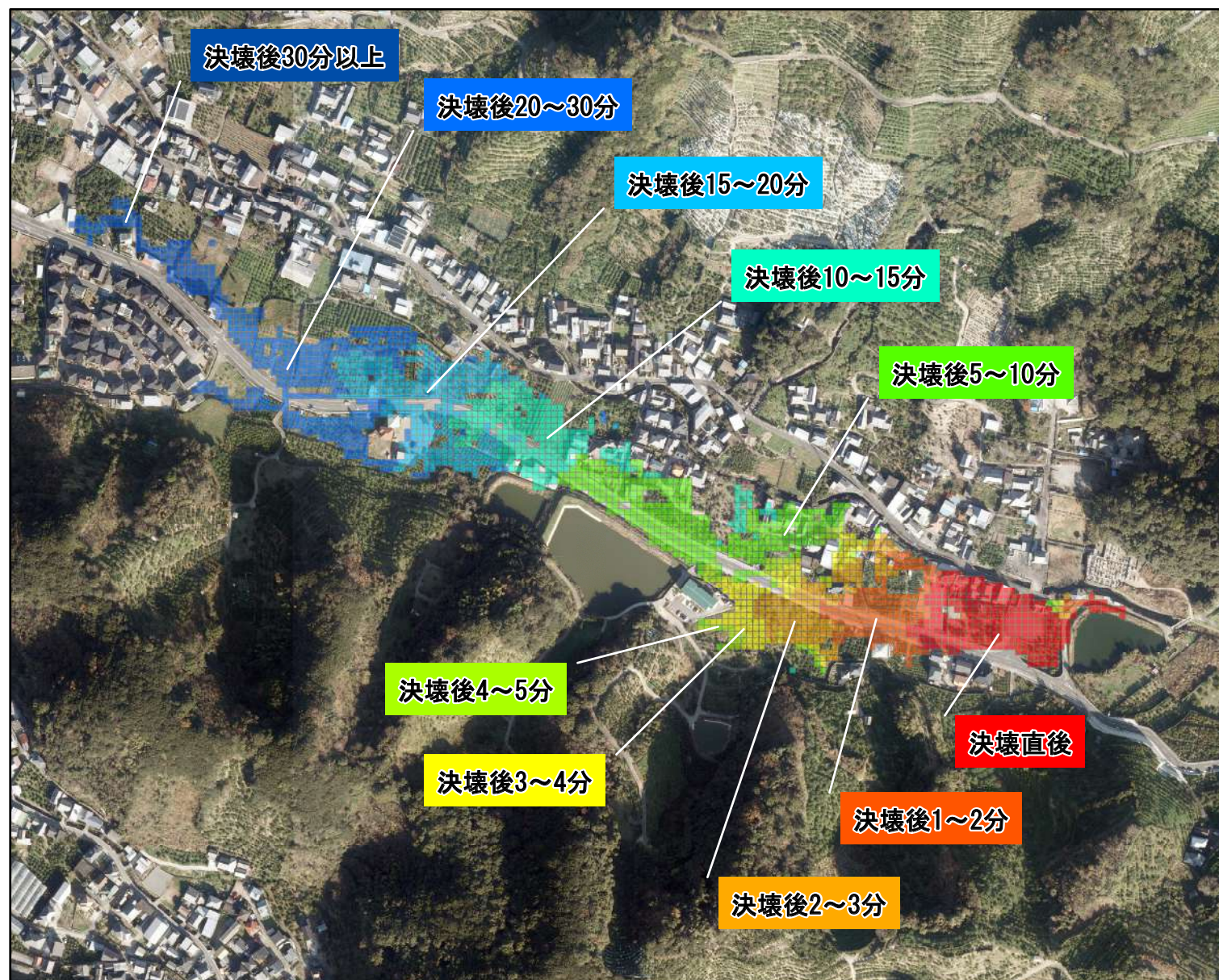
■ 放生池はん濫シミュレーションについて

本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態で放生池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。

緊急事態においては、ため池の水位を低下させるなど、決壊を防ぐための処置を行います。ただし、想像以上の大災害が発生した場合、いつどのような状況で放生池が決壊してしまうかはわからないため、最悪の状況を想定しています。

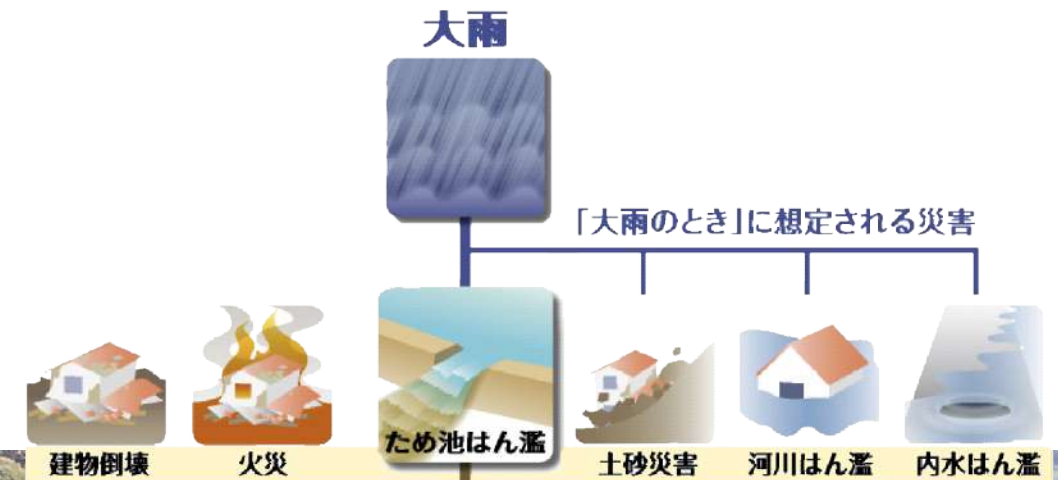


放生池はん濫緊急度

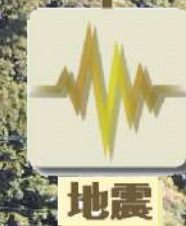


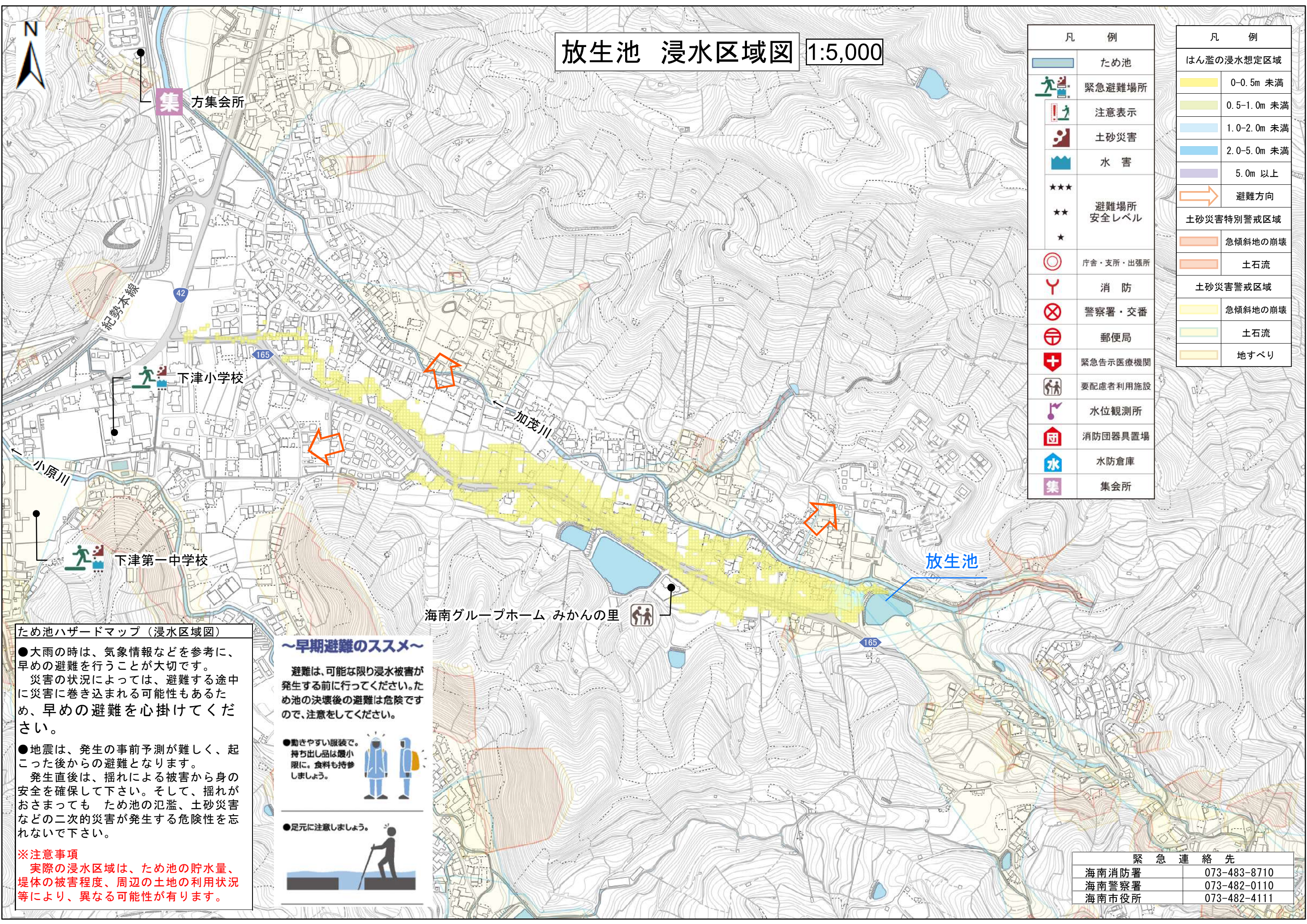
放生池 ハザードマップ

海南市 まちづくり建設課



「地震のあと」に想定される災害





放生池 浸水区域図 1:5,000

凡 例	
	ため池
	緊急避難場所
	注意表示
	土砂災害
	水 害
	避難場所 安全レベル
	庁舎・支所・出張所
	消 防
	警察署・交番
	郵便局
	緊急告示医療機関
	要配慮者利用施設
	水位観測所
	消防団器具置場
	水防倉庫
	集会所

凡 例	
はん濫の浸水想定区域	
	0-0.5m 未満
	0.5-1.0m 未満
	1.0-2.0m 未満
	2.0-5.0m 未満
	5.0m 以上
	避難方向
土砂災害特別警戒区域	
	急傾斜地の崩壊
	土石流
土砂災害警戒区域	
	急傾斜地の崩壊
	土石流
	地すべり

ため池ハザードマップ（浸水区域図）

●大雨の時は、気象情報などを参考に、早めの避難を行うことが大切です。災害の状況によっては、避難する途中に災害に巻き込まれる可能性もあるため、早めの避難を心掛けてください。

●地震は、発生の事前予測が難しく、起こった後からの避難となります。発生直後は、揺れによる被害から身の安全を確保して下さい。そして、揺れがおさまっても ため池の氾濫、土砂災害などの二次的災害が発生する危険性を忘れないで下さい。

※注意事項
実際の浸水区域は、ため池の貯水量、堤体の被害程度、周辺の土地の利用状況等により、異なる可能性が有ります。

～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意をしてください。

●動きやすい服装で。持ち出し品は最小限に。食料も持参しましょう。

●足元に注意しましょう。

緊 急 連 絡 先	
海南消防署	073-483-8710
海南警察署	073-482-0110
海南市役所	073-482-4111